

3 疎植水稻 (11.1株/m²) の生育特性

疎植水稻は、生育期間中の単位面積当たり茎数が少なめに推移する(図1)。また、生育期間中の葉色は濃く、有効茎歩合は高くなる。

出穂期、成熟期は、疎植と慣行で、ほとんど差はみられない。

疎植水稻は、慣行植水稻(18.5株/m²)に比べ稈長、穂長ともにやや長く、単位面積当たりの穂数が少ないが、1穂粒数は多い。登熟歩合は高くなる。

収量、玄米外観品質は、疎植水稻と慣行植水稻でほぼ同等である。玄米タンパク質含有率は、疎植水稻で、やや高くなる場合がある(表3)。

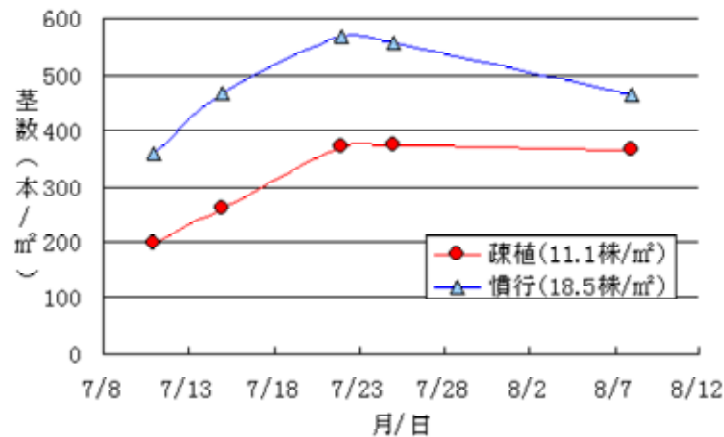


図1 ヒノヒカリの茎数推移
(2002年6月19日移植)

表3 生育、収量、品質

コシヒカリ(4月下旬移植)

栽植密度	穂肥前 葉色 (SPAD)	出穂 期 (月.日)	成熟 期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	1穂 粒数 (粒)	千粒 重 (g)	倒伏 程度	精玄米重 (kg/a)	良質粒 割合 (%)	玄米 タンパク (%)
11.1株/m ²	36.9	7.17	8.19	87	20.2	315	93	21.4	0.0	54.8	86	7.3
18.5株/m ²	34.4	7.17	8.19	84	19.6	351	81	21.5	0.0	53.1	82	7.1

ヒノヒカリ(6月中旬移植)

栽植密度	穂肥前 葉色 (SPAD)	出穂 期 (月.日)	成熟 期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	1穂 粒数 (粒)	千粒 重 (g)	倒伏 程度	精玄米重 (kg/a)	良質粒 割合 (%)	玄米 タンパク (%)
11.1株/m ²	36.8	9.01	10.07	78	19.7	348	84	21.7	0.0	53.3	85	7.7
18.5株/m ²	33.3	8.31	10.06	75	19.0	397	77	22.0	0.0	53.8	85	7.5

注) 精玄米重、千粒重は1.8mm以上 玄米品質は静岡製機RS-2000で測定
玄米タンパクはケルダール法で測定 2002年、2003年の2カ年平均

疎植栽培でも、収量や玄米の外観品質は慣行栽培とほぼ同等である。